

第20回歩け歩け大会コース見どころ

○紅葉

上野村の総面積の94%は山林で、山が急峻なため杉やひのきなどの植林が比較的少なく、広葉樹が多いです。10月中旬から11月上旬にかけて、森の木々が赤や黄色の錦をまとい、村内どこからでも美しい紅葉を楽しめます。

○神流(かんな)川

国土交通省による水質調査で「関東一きれいな川」に認定(平成16~19年)され、その清らかな流れはイワナやヤマメ、鮎など多くの溪流魚を育み、たくさんの釣り人に愛されています。

○ふれあい館

観光案内、情報発信、文化の紹介、特産品の販売など、観光客や釣り人が集う憩いの場。十石みやイノブタ製品など、村のお土産を数多く取り揃えています。

(お問合せ:ふれあい館 ☎0274-59-3223)

○クラフトマンショップ こかげ

村で活動する工房の作品を展示販売しています。店内には木工、竹工、陶芸などの個性的なこだわりの作品が並び、ぬくもりあふれる癒しの空間が広がります。

(お問合せ:クラフトマンショップ こかげ ☎0274-59-2330)

○森の体験館(体験は有料)・全国郷土玩具館(入館料が必要)

「ふれあい館」や「クラフトマンショップ こかげ」と隣接した体験施設。木工、草木染め、手打ちそば、レザークラフト、陶芸など、村ならではの生活文化を自分で作って体験できます。

(お問合せ:森の体験館 ☎0274-20-7072)

古くから日本の子どもたちに親しまれてきた懐かしい玩具15,000余りを収蔵、展示しています。村の伝統行事「おひながゆ」のジオラマなどもあります。

(お問合せ:全国郷土玩具館 ☎0274-20-7070)

○白井(しろい)地区【イチイの木、市神様、高札場】

信州から十石峠を越えて上州に入ると最初にある集落で、信州や武州、上州との交易が盛んなときは、問屋、旅籠、床屋、質屋などがありました。寛永8年(1631)には白井関所が設けられました。

イチイの木…県指定文化財のひとつで、関守の庭に植えられたものであると伝えられています。樹齢は推定370年以上、樹高15m、目通り2.83mの巨木。

市神様…白井集落の中ほどに、寛文13年(1672)の銘のある市神様を祭った石の祠があり、その祠の大きさは高さ50cm、幅20cm、総高60cm。村指定文化財。

高札場…室町から江戸時代に禁制や法令などを一般人民に周知させるため、板札に墨書した高札と呼ばれるものを掲示した場所で、町や村の辻、村役人宅の門前、関所などの要地にあり厳重に管理されていました。その内容には、切支丹(きりしたん)の密告を求めるものなどがありました。

○旧黒澤家住宅(入館料が必要)

国指定文化財。黒澤家は代々上山郷の大総代を務めた旧家で、現存する母屋はその規模の大きさ及び座敷の数や玄関の設備の点で大総代の住居の面影をよく伝えており、意匠的優秀さを示しています。建物は切妻造り、330平方メートル(100坪)を越える大きな板葺き(現在瓦葺)の総二階建てで、様式や構造から18世紀中頃の建築と考えられ、広い板の間の二階は養蚕のために使用されていました。

